

## I 平成 25 年度事業の成果と課題

8 年目を迎えた食育サポートセンターは、「あすなろ隊」の活動と相まって認知度も上がり、「出会い・ふれあい・学び合い」をコンセプトに、県内一円からの多様な団体のニーズに応えることができた。学生の「あすなろ隊」への登録者数は、平成 24 年度の 220 名に対し平成 25 年度は 207 名、食育支援活動回数は、平成 24 年度の 24 回に対し 23 回で、例年並みの活動を引き続き行うことができ、地域の食育推進にも貢献できた。学生の食を通じたボランティア活動も定着し、これらの活動が学生の異世代交流に役立っている。学生による活動後の自己評価では、平成 24 年度と比べ、コミュニケーション力、協働力、実践力が向上したとの回答が多かった。また、派遣先からも活動に対する責任感や礼儀・マナー、実践力、協働力などについて高く評価されている。

平成 25 年度の活動としては、例年に引き続き健康栄養学科 1 年生を対象に実施している味覚教育、専門教育科目の食育に関する学外実習の取り組み、学生食育ボランティアの派遣、県の委託事業である「食育推進リーダー養成講習会」の実施等に取り組んだ。教材の貸出による支援回数は平成 24 年度の 59 回に対し 34 回であったが、県内外の食育活動に幅広く活用された。

本年度の活動の特徴としては、神崎市との共催で神崎市の偉人である下村湖人の生家を利用した子ども達への食育講座「食まなび塾」を開催したことである。子ども達に食育で育んでもらいたい力（マナー、料理のスキル、食文化など）について楽しく学んでもらい、実践する力を身に付けてもらうことができた。また、講座を通して市の食育推進に貢献することができた。

神崎市との取り組みとしては、神崎市、地元企業との協同により、神埼そうめんを使った加工食品の開発を行っている。

県からの委託事業である「食育推進リーダー養成講習会」は、昨年度に引き続き、「減塩」に視点を置いた講習会を開催し、132 名の参加者を得た。講習会を通して、食育が目指す「健全な食生活」を伝えていく上での参考となり、「減塩」への取り組みの啓発に貢献できた。

今後も、多くの学生が積極的に参画し、教員と協働して大学の食を通じた地域貢献活動を強化していくことが必要と思われる。

### 主な成果

- ①「食育サポートセンター」が食育の拠点として定着してきた。
- ②学生の食を通じたボランティア意識が着実に広がっている。
- ③「さが食育フェスタ 2013」を通して、佐賀県の食育支援に貢献できた。
- ④神崎市との共催で開催した食育講座「食まなび塾」を通して、神崎市の食育推進に貢献できた。
- ⑤保育園、小学校、地域での食育活動に参画することで、学生が異世代交流を体験できた。

### 課題

- ①関係教員が個々の専門性を生かし、あすなろ隊へ助言、指導を行い、食育プログラムの

構築について更に積み重ねていく必要がある。

- ②活動を通して、学生の学習意欲に関する行動変容、活動実施に関する事業評価指標を確立させていく必要がある。

平成 25 年度食育サポートセンター事業評価及び課題

事業区分	担当事業	事業評価	課題
推進体制	食育サポート運営委員会の主宰	委員会には、部会が設置できることから実務レベルの作業部会を通して、各事業の企画について円滑に取り組むことができた。	学生組織の強化と自主活動を推進していく必要がある。
		地元神崎市との連携・協定の取り組みにおいて、神崎市及び地元企業との協同により、神埼そうめんを使用した加工食品の開発を行った。	神崎市との連携を更に強化する必要がある。
		平成 24 年度に引き続き、学長が「食育ネットワークさが」の会長に就任され、構成団体への大学の周知が更に拡大した。	構成団体との連携を強化する必要がある。
	学内組織への参画	「西九州大学子ども研究ネットワーク」構成団体として、「NCN ニュースレター」に食育サポートセンターの取り組みを掲載し、学内関係者に食育サポートセンターの活動の理解を深めることができた。	子ども研究ネットワークにおける交流活動を活発化する必要がある。
		「あすなろうセンター」への食育に関する学外活動の情報提供を行い、連携を図ることができた。	学外活動体験に関する連携が引き続き必要である。
	学生食育ボランティアの組織体制	平成 25 年度学生食育ボランティア「あすなろ隊」隊員数は 207 名であったが、活動する隊員が固定化している傾向が見受けられる。	隊員の実質的な活動が定着するように更に支援していく必要がある。
		昨年組織化した各グループの取り組みにおいて、「料理・スイーツグループ」はスイーツレシピの考案を行い、「きずなレポーターグループ」は県内の食と農に関する情報を発信した。	学生の自主性を尊重した主体的な活動を推進していく必要がある。
	県の委託事業等の実施	「食育推進リーダー養成講習会」を県より受託して 8 年目を迎えた。生産現場・地域で活動するふるさと先生や食生活改善推進員等、食育推進に関わる関係者の共通理解が得られるとともに、修了者の活動が地域に定着してきている。平成 25 年度は、昨年に引き続き「減塩」に視点を置いた講習会を開催し、減塩について参加者の意識改革と取り組みの啓発に繋げることができた。	研修内容や対象者の拡大について検討する必要がある。

専門教育	専門教育科目への食育の導入	「栄養教育論実習Ⅰ」において、地元保育園・小学校で学外実習を行った。これにより、学生は園児・児童をを前にして教材の選定をはじめ、対象者に適した栄養指導の重要性を認識することができた。	
食育プログラム構築のための活動	学園祭での食育体験コーナーの出展	五感を使った食育体験コーナー設けた。 また、あすなろ隊員が自身で企画した模擬店を出店し、販売を行い、達成感を得ることができた。	学生主体の企画・運営ができるように支援していく必要がある。
	教材の開発及び貸出	実用新案に登録された「食育カード」は、わかりやすい食育教材として、県内外の食育活動に幅広く活用されている。  食事と運動のエネルギーバランスをわかりやすく学習するための教材「食育てんびん“はかるくん”（実用新案登録）」については、県内外からの貸出のニーズが高まってきた。  各種教材、機器の貸出は、34回で楽しく分かりやすい教材として利用されている。	今後も多様な教材の開発を行う必要がある。  「食育てんびん“はかるくん”」の商品化を検討する必要がある。
	保育所・学校での活動	地元保育園や小学校、高等学校の食育活動を支援した。活動を通して学生は、食育の大切さ、食事のアドバイスをする喜びを感じることができた。	活動対象の選定、継続教育の検討も行う必要がある。
	地域での活動	神崎市との共催で子ども達への食育講座「食まなび塾」を実施し、市の食育推進に貢献した。  活動を通し、地域の人や団体とのつながり、地域活動の実際について体験することができ、また、幅広い世代の対象と触れ合う良い機会となった。	今後も神崎市への支援を継続していく必要がある。
	活動の評価	平成25年度も自己評価に関する意識調査を行った。これによると、平成24年度と比べ、コミュニケーション力、協働力、実践力が向上したとの評価が高かった。	
食育サポートセンター運営	広報活動	本学のホームページのトップに「食育サポートセンター」の活動報告を随時掲載し、情報発信を行っている。 ( <a href="http://www.nisikyu-u.ac.jp/food/">http://www.nisikyu-u.ac.jp/food/</a> )  平成24年度に引き続き、家族だんらん2013「家族だんらんカレンダー」に食育サポートセンターの教材が掲載され、県内小学校新1年生に配布された。県内全域に食育サポートセンターの活動の一端を紹介することができた。	今後は更に、学外からのニーズに対応した情報提供の体制の充実を図る必要がある。

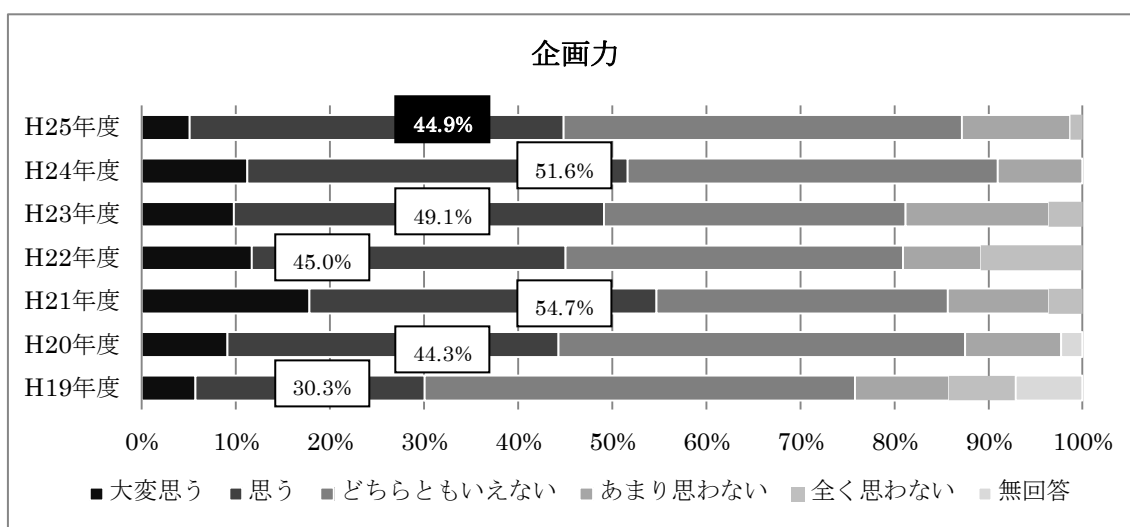
## 学生食育ボランティア「あすなろ隊」活動者の自己評価結果

### ○自己評価の方法

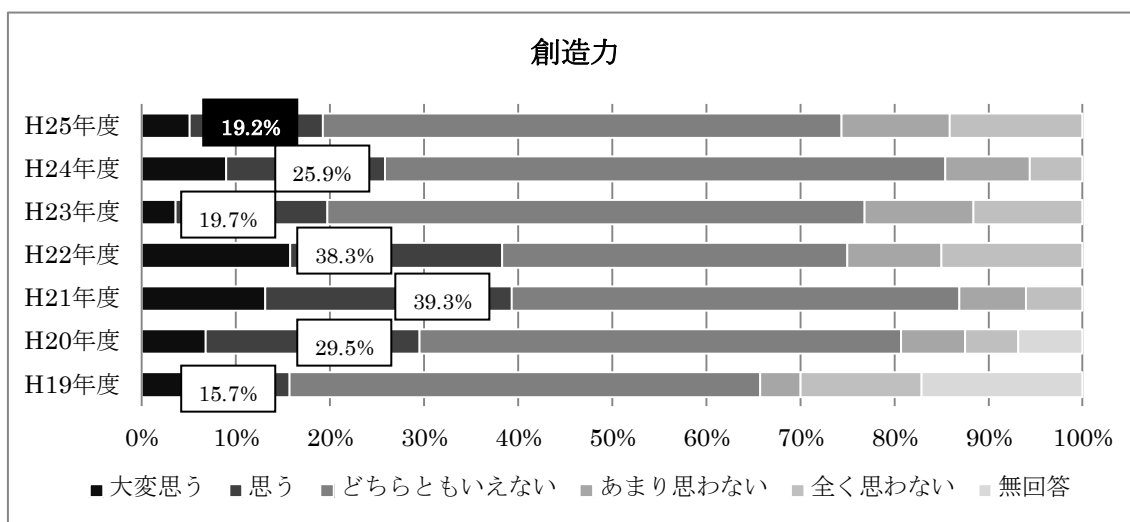
対象：平成 25 年度にボランティアとして食育活動に参加した学生 78 名

方法：企画力、創造力、コミュニケーション力、協働力、実践力の 5 つの項目について自記式により 5 段階で評価

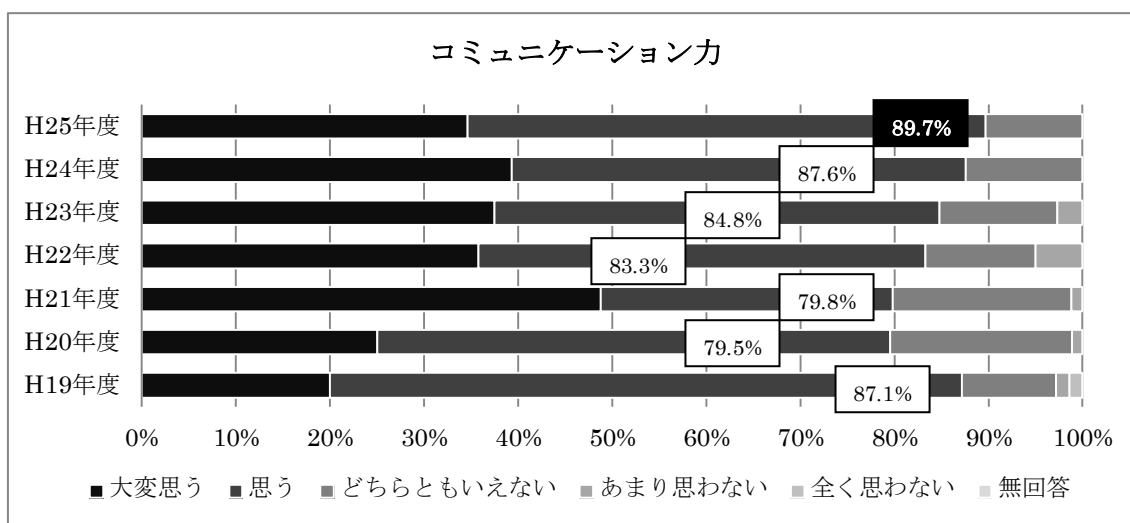
### ◆企画力



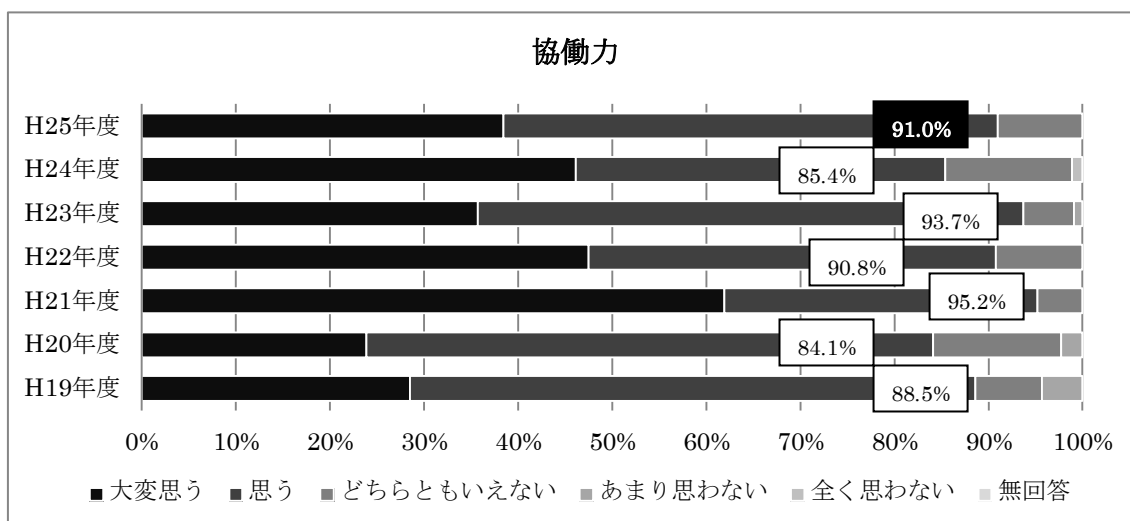
### ◆創造力



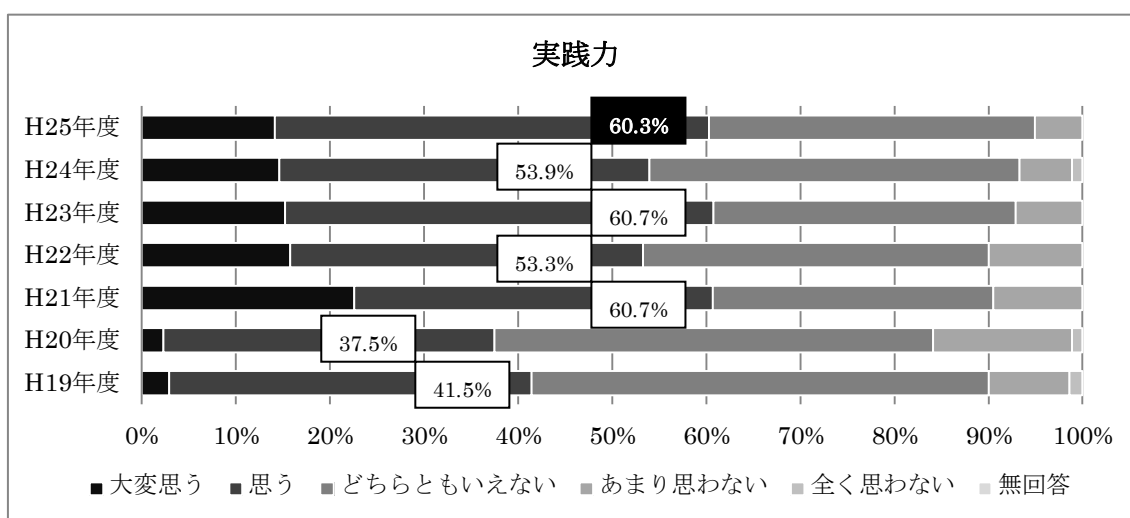
◆コミュニケーション力



◆協働力



◆実践力



## Ⅱ 味覚教育と専門教育の実施

### 1. 味覚教育

味覚は、ヒトの五感の一つであるが、将来管理栄養士になった場合に必要な能力の一つともいえる。健康栄養学科では、平成 19 年度から 1 年生を対象とした食味テストを行っている。また、この検査は佐賀県産の極上海苔「有明海一番海苔」を選定する食味検査員の認定試験を兼ねて行っている。「有明海一番海苔」は、県と県有明海漁協が平成 19 年度から売り出された極上海苔で、消費者の視点から味を厳選してもらおうと検査員が募集された。食味テストには、閾値に調製した塩化ナトリウムやカフェインなどの水溶液 5 種類と無味の水を飲み比べ、甘味、塩味、酸味、苦味、旨味を識別するという味覚テストと、3 種類の海苔を食べ比べて柔らかさの順序を判定するテストがある。合格の基準は、4 味以上を識別し、海苔の柔らかさの順序をすべて当てるというものである。

平成 19~25 年度の合格者の結果を表 1 に示す。今年度は、135 名受験し、42 名が合格した。合格率は、31.1%となり、昨年度よりも少し高い合格率となった。なお、年度間の比較については、用いた海苔が毎年異なったりすることから、単純に比較できない。

この検査を通して、日頃の味付けを薄味にしようと考え直す学生もおり、味覚の重要性が伝わったと思われる。また、地元佐賀県でとれる本物の海苔を味わうことで、地産地消に繋げたい。

表 1.食味テストの結果

	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	合計
受験者 (人)	113	114	99	117	110	109	135	797
合格者 (人)	8	13	26	57	21	31	42	198
合格率 (%)	7.1	11.4	26.3	48.7	19.1	28.4	31.1	24.8



佐賀新聞 2013.7.13



本学の味覚教育についての放映の様子

BS ジャパン「空から日本を見てみよう＋不思議なものだらけの佐賀県佐賀平野から絶景の有明海へ」(2014.1.21)

P://www.bs-j.co.jp/program/detail/22374\_201401212000.html

## 2. 専門教育

### ＜栄養教育論実習Ⅰにおける小学校・保育所への学外実習＞

目 的 栄養教育論実習においてライフステージ別の集団栄養教育を学習するが、実際の対象を設定することが難しく、また教育の臨場感にも欠ける。また、「食育」を支える次の世代として子ども達の食の現状や食育の現場に携わることは非常に大切である。そのことから平成24年度に引き続き、集団栄養教育の内容を「食育」とし、神埼市内のちよだ保育園、神埼保育園、仁比山小学校に協力を頂き、園児・児童を対象とした学外実習を行った。

内 容 1クラスはちよだ保育園、2クラスは神埼保育園の3・4・5歳児を対象とし、グループごとに担当クラスを決定した。3クラスは仁比山小学校1～6年生を対象とし、グループごとに担当クラスを決定した。担当クラスの園児・児童の特性を知るために、ふれあい日を設けた。ふれあい日で園児・児童に接することにより、園児・児童の発達段階、興味関心等を観察した。それをもとに、実習内容を決定し、教育案・媒体を作成し、学内での模擬教育を行った後、実際の教育を行った。

各グループの教育テーマは、以下の通りである。

1クラス	2クラス	3クラス
好き嫌いをなくそう	好き嫌いをなくそう	食べ物のよいところを知ろう
好き嫌いをなくそう	うんちについて知ろう	好き嫌いをせずに食べよう
うんちについて知ろう	噛んで元気になろう	ありがたいの気持ちをもって残さず食べよう
うんちについて知ろう	朝ごはんを食べよう	給食を残さず食べよう
野菜を好きになろう	好き嫌いをなくそう	食べ物の働きについて知ろう
残さず食べよう	トマト博士になろう	栄養素の役割と重要性について正しく理解しよう

### 日 時

＜ちよだ保育園＞ 平成25年5月31日（金）9：50～10：45 ふれあい日  
1クラス 平成25年7月12日（金）9：50～10：45 発表日

＜神埼保育園＞ 平成25年5月27日（月）14：40～15：30 ふれあい日  
2クラス 平成25年7月9日（火）10：00～10：50 発表日

＜仁比山小学校＞ 平成25年5月17日（金）12：35～13：35 ふれあい日  
3クラス 平成25年6月28日（金）12：50～14：15 発表日

学 生 栄養教育論実習Ⅰを履修した健康栄養学科3年生  
1クラス31名、2クラス32名、3クラス37名  
引率教員 3名

#### <実習の教育的効果>

普段、学生は園児・児童とふれあう機会が少なく、接する前は、不安や苦手意識が強い学生が多かった。実際にふれあうことにより、対象の特性を知ることができ、苦手意識も払拭されていたことから、異世代とのコミュニケーションの場という点でも意義があったと考える。また、「食育」を幼少期から行うことの必要性について気づけたことも大きな収穫だったと言える。

学内での栄養教育体験に比べ、実際の対象を設定することにより、学生の意欲・達成感につなげることができた。学生の感想の中にも「わかりやすく話すことや興味を引くことの大切さ、園児・児童の理解度を知ることができた」、「園児・児童たちの反応を得ることが出来、栄養教育の楽しさ・難しさに気づけた」、「栄養士の仕事・責任について考えることができた」等があり、学生が真剣に取り組んだことが実際の反応として返ってくることで、自分自身を省み、改善へとつなげる材料にもなった。今後もこのような活動をしたいたとすべての学生が答えていたことから勉学へのやる気を引き出す教育効果があったといえる。

#### <今後の課題>

神崎市との食育連携を図るために、神崎市内にあるちよだ保育園と神崎保育園を実習園として選んだ。また、3クラスは栄養教諭を目指すものが4名いることから対象を小学生とし、仁比山小学校を選定した。今年度も現場で使える教材作りをするように指導し、学生も完成度の高い教材を作成した。保育園では園で栽培している野菜の育て方、観察のポイント、食べ方、料理など野菜に興味を持ち、好きになってもらえるような内容や食事とウランチの関係について考える内容を展開し、園側のニーズを取り入れることができた。来年度も来てほしい、恒例行事にしてもらいたいとの声も頂き、好評であった。

課題として、大学側の一方的な教育内容で、学校のニーズに答えられていない部分があったので、小学校の担任の先生に対して、事前にアンケートをとり、実施してほしい内容について確認をし、ニーズに対応できるようにした。しかし、時間がタイトな中、教育内容や実施についての対象園・小学校からの評価が十分に行われていないのが課題である。今後、園や学校に負担のない評価の在り方について検討し、次年度につなげていく。





### Ⅲ 学生食育ボランティアあすなろ隊

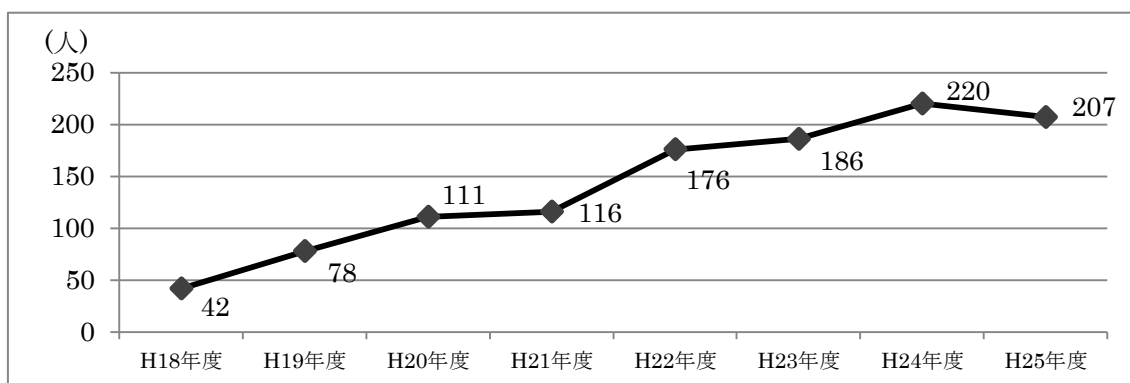
#### 1. 隊員構成

永原学園の教育理念を象徴する言葉『あすなろ（翌檜）』は、学生が自らの可能性を信じ、自らの力によって、その持てる才能を開花させ、将来の大きな目標に向かって突き進む姿勢を意味する。

「学生食育ボランティアあすなろ隊」は、西九州大学に在籍する学生の有志で構成されており、施設や自治体の行事やイベントへ参加し、“あすなろう”の精神で、食の体験活動をサポートしている。

現在、1年生 36 名、2 年生 78 名、3 年生 34 名、4 年生 59 名の計 207 名の有志が活動している。（平成 26 年 3 月）

#### ◆あすなろ隊員数の年次推移（平成 18 年度～平成 25 年度）



#### ◆あすなろ憲章

私達あすなろ隊員は、以下の項目を遵守し、県内の保育園、学校、地域における食育推進ボランティア活動を通し、自らの資質・能力を向上させるとともに、子どもを中心とした食育の充実を図り、豊かな人間性や生きる力を身に付けさせ、地域の食育活性に取り組むことを誓います。

##### 第一

保育所、幼稚園などで行われる食育活動に可能な限り積極的に参加し、西九州大学生としての誇りを持って活動します。

##### 第二

現場での活動に関しては、幼児や児童の安全を第一に行動するとともに、自身並びに協働する方全員の安全を念頭において活動します。

##### 第三

活動の推進にあたっては、指導教員・関連機関の指導を遵守しながら、自ら積極的に行動します。

##### 第四

幼稚園、学校などの教育現場においては、現場の先生・職員の方々の指導に従い、協調して活動を進めます。

##### 第五

講義で身に付けた知識・技術に加え、食育ボランティア活動を通して企画力・創造力・社会貢献力に更に磨きをかけ、自分の力とします。

#### IV 平成 25 年度の活動報告

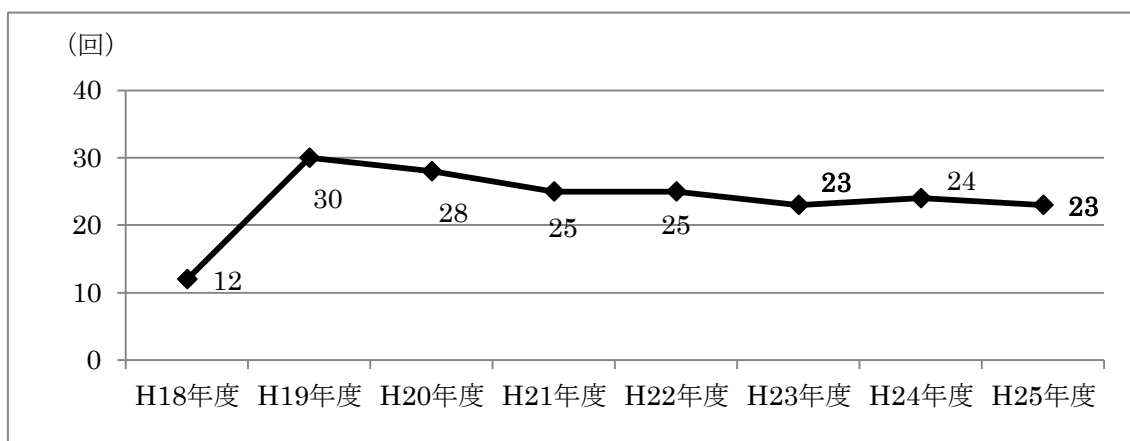
平成 25 年度食育サポートセンター・あすなろ隊活動一覧

回数	活動場所	活動日	行事名	活動者数	あすなろ 体験履修者
1	地域 (18回)	4月21日(日)	吉野ヶ里町健康福祉フェスタ	あすなろ隊3名	
2		4月28日(日)	小城普茶料理食事会～春	あすなろ隊2名	
3		5月12日(日)	ひらまつ病院健康スマイルフェア	あすなろ隊3名	
4		5月26日(日)	神崎市こどもまつり	あすなろ隊5名	
5		6月29日(土)	食まなび塾①	あすなろ隊7名 引率2名	
6		7月7日(日)	食まなび塾②	あすなろ隊7名 引率2名	
7		7月7日(日)	パパとチャレンジ!クッキング(親子料理教室)	あすなろ隊4名	
8		7月13日(土)	食まなび塾③	あすなろ隊7名 引率2名	
9		8月17日～21日	「夢はウイングルトンへ」グラスホッパー全国ジュニア in 佐賀	あすなろ隊6名	
10		8月26日(月)	食育推進リーダー養成講習会	あすなろ隊5名 教職員8名	
11		9月3日(火)	公開講座「高血圧予防の食生活」	あすなろ隊2名	
12		10月27日(日)	子育て支援イベント「ばぶばぶフェスタ 2013」	あすなろ隊3名	健栄2名 こども1名
13		11月4日(月・祝)	たけおの食育まつり	あすなろ隊6名	
14		11月9日(土)	さが食育フェスタ 2013	あすなろ隊2名 教職員2名	
15		11月10日(日)	九州まん祭	あすなろ隊2名 教職員4名	
16		11月17日(日)	日曜糖尿病教室	あすなろ隊5名	
17		11月24日(日)	小城普茶料理食事会～秋	あすなろ隊4名	健栄1名
18		12月20日(日)	ほっとひろば西九大	あすなろ隊2名 教職員2名	
19	教育現場 (3回)	8月7日(水)	神埼保育園でのお茶教室①	あすなろ隊4名	健栄3名、社福3名、子ども2名
20		9月11日(水)	神埼保育園でのお茶教室②	あすなろ隊3名	社福2名
21		9月19日(木)	神埼高等学校での食育バイキング講座	あすなろ隊5名 教職員4名	
22	本学 (2回)	10月26日～27日	学園祭①「食育体験コーナー」	あすなろ隊18名 教職員7名	
23		10月26日～27日	学園祭②「模擬店出店」	あすなろ隊8名	

◆平成 25 年度食育サポートセンター・あすなろ隊活動の県内分布



◆活動回数の年次推移（平成 18 年度～平成 25 年度）



## 1. 活動報告①（食育推進リーダー養成講習会）

目 的 食育を栄養、調理、農業などの総合的な観点で推進する人材を育成し、関係団体、保育所、幼稚園、学校、地域等に派遣するため、「西九州大学、佐賀県及び佐賀県教育委員会における食育についての連携・協力協定書」第2条第2号に基づき食育推進リーダー養成講習会を実施する。

実施主体 佐賀県及び西九州大学食育サポートセンター

開催日時 平成25年8月26日（月） 13時～16時30分

開催場所 佐賀市文化会館イベントホール

参加者数 132名  
（ヘルスメイト22名、ふるさと先生8名、学校食育担当者16名、保育所等児童福祉施設関係者17名、幼稚園関係者5名、市町食育担当者25名、その他関係団体3名、県関係者17名、大学関係者13名、その他6名）

講習内容 「人を育てる食育！ 地域を育てる食育！」

時間	内容	場所
13:00	開会 主催者挨拶（県・大学） 佐賀県くらしの安全安心課 課長 甲斐直美 西九州大学食育サポート運営委員会 委員長 高橋忠夫	佐賀市文化会館イベントホール
13:10	研究報告 「食塩摂取に関する研究報告」 西九州大学健康福祉学部健康栄養学科 准教授 堀田徳子氏	
13:30	事例発表 「食農教育の取組紹介～平成24年度佐賀県食育賞受賞者市丸房光氏との連携～」 唐津・東松浦地区4Hクラブ（松原会） 吉野政寛氏	
13:45	講演 「生涯食育 減塩で人づくり 地域づくり」 講師：独立行政法人 国立病院機構 九州医療センター 臨床教育部長 高血圧内科医長 土橋卓也氏	
14:45	ディスカッション テーマ：減塩に視点をのいた食育活動を考える ・グループワーク ・全体討議	
16:20	閉会	

## 実施評価

「人を育てる食育！地域を育てる食育！」をテーマに講習会を開催した。

研究報告では、モニタリングの結果を交えながら、母子間における食塩摂取状況の関連と栄養教育の効果について、母親の意識を高めることで幼児の減塩にもつながることが報告された。

事例紹介では、平成24年度佐賀県食育賞受賞「食農教育部門」を受賞された市丸房光氏の取り組みについて紹介があった。アイガモ農法により「食」と「命」の大切さを伝え、地域に根差した取り組みは大変興味深いものであった。

講演では、高血圧と食塩摂取量の現状と対策方法について、具体的な事例を交えながら話され、食育が目指す「健全な食生活」を伝えていく上での参考となった。

ディスカッションでは、学校・保育園・幼稚園・行政の食育担当者、保健・農業サイドの団体の代表がグループで話し合うことによって、活動の相互理解が高まり、地域での広がりある活動を期待する。

地産食膳れすとらんさがん風と内閣府認定公益社団法人全日本司厨士協会佐賀本部の協力を得て、「おいしい減塩旬菜メニュー」（塩分相当量2.6g）の提供を行い、減塩メニューの見本となった。

これを契機に、佐賀県での「減塩」についての取り組みが活発になることを期待したい。



佐賀新聞 2013.9.1

(講習会の様子)



## 2. 活動報告②（学生食育ボランティアあすなろ隊派遣活動）

### 1) 吉野ヶ里町健康福祉フェスタ

活動内容：食育推進コーナーでの支援（食育すごろく、魚釣りゲーム、野菜クイズ）

活動日時：平成 24 年 4 月 21 日（日）9 時 30 分～14 時 30 分

場 所：東背振健康福祉センターきらら館（吉野ヶ里町）

対 象 者：子ども（約 130 名）

活動者数：あすなろ隊 3 名

依 頼 先：吉野ヶ里町健康福祉フェスタ実行委員会



#### 《あすなろ隊の感想》

- ・子どもからお年寄りまでの方達と交流ができ、大変良い経験になった。
- ・子ども達が食べ物に対する関心や知識を持っていたことに驚いた。
- ・食育クイズや食育教材を通して、もっと食に対する興味や正しい知識を身に付けてもらいたい。

### 2) 小城普茶料理食事会～春

活動内容：伝統料理普及活動の支援（調理・盛り付け・配膳・接待・後片付け）

活動日時：平成 25 年 4 月 28 日（日）9 時～16 時

場 所：小城市公民館晴田支館（小城市）

対 象 者：食事会にお越しのお客（約 60 名）

活動者数：あすなろ隊 2 名

依 頼 先：祥光山星巖寺伝承「普茶料理おぎ春香会」



#### 《あすなろ隊の感想》

- ・普茶料理や料理の工夫などについて深く学ぶことができ、とても良い経験ができた。
- ・普茶料理を食されたお客様の笑顔がとても印象的で、普茶料理の魅力をさらに感じた。
- ・活動を通して、行動の仕方、目配り、気配りなどについて学ぶことができた。

### 3) ひらまつ病院健康スマイルフェア

活動内容：食事バランス診断時のサポート

活動日時：兵営 25 年 5 月 12 日（月）9 時 30 分～16 時

場 所：VIVO ILLAGE 健康村＊ひらまつ病身敷地内（小城市）

対 象 者：地域住民（約 100 名）

活動者数：あすなろ隊 3 名

依 頼 先：医療法人ひらまつ病院



#### 《あすなろ隊の感想》

- ・管理栄養士の先生が、対象者に対して食事診断の結果を説明する内容を間近で聞くことができ、栄養教育の実際を学ぶことができた。
- ・具体的に的確なアドバイスをする等、柔軟な対応力の必要性について理解した。

#### 4) 神埼子どもまつり

活動内容：食育体験コーナーでの支援（食育輪投げ、魚釣りゲーム）

活動日時：平成 25 年 5 月 26 日（日）9 時 30 分～16 時

場 所：神埼中央公園体育館（神崎市）

対 象 者：子ども（約 200 名）

活動者数：あすなろ隊 5 名

依 頼 先：神崎市子どもまつり実行委員会



##### 《あすなろ隊の感想》

- ・子ども達が大勢来た時の対応が、あたふたとなり声かけが十分に出来なかった。
- ・初めての活動で不安だったが、仲間と協力し合っているうちに、子ども達とも上手く接することができるようになり、活動を楽しむことができた。

#### 5) パパとチャレンジ！クッキング（親子料理教室）

活動内容：料理教室の準備、サポート（食材仕分け、調理サポート）

活動日時：平成 25 年 7 月 7 日（日）8 時 45 分～14 時

場 所：アバンセ（佐賀市）

対 象 者：小学 1～3 年生の子どもとその父親（12 組）

活動者数：あすなろ隊 4 名

依 頼 先：佐賀県立男女共同参画センター



##### 《あすなろ隊の感想》

- ・講師の先生といろいろお話ができて良かった。
- ・このような料理教室を企画する際に、何を考慮して計画するのかなど、体験を通して理解することができ、良い体験となった。

#### 6) グラスホパー全国ジュニアテニス in 佐賀

活動内容：①栄養相談のサポート

②夕食のサポート

活動日時：①平成 25 年 8 月 18 日（日）～20 日（火）11 時～14 時

②平成 25 年 8 月 17 日（土）～21 日（水）18 時～20 時

場 所：①グラスコート佐賀テニスコート（佐賀市）

②龍登園（佐賀市）

対 象 者：小学 5～6 年生のテニス選手（129 名）

活動者数：あすなろ隊 6 名

依 頼 先：「夢はウインブルドンへ」 グラスホパー全国ジュニアテニス in 佐賀



##### 《あすなろ隊の感想》

- ・初めて身近に管理栄養士の先生と接して、いろいろな刺激を受けた。
- ・直接栄養相談の様子を見ることができたり、栄養士の仕事について話を聞くことができ、とても勉強になった。



## 7) 神埼保育園でのお茶教室①

活動内容：①お茶の淹れ方のサポート、クイズの提供、水分補給について

②お茶の淹れ方のサポート、箸の持ち方について

活動日時：①平成 25 年 8 月 7 日（水）13 時 30 分～16 時

②平成 25 年 9 月 11 日（水）13 時 30 分～16 時

場 所：神埼保育園（神崎市）

対 象 者：年長児（23 名）

活動者数：①あすなろ隊 7 名、あすなろう体験履修者 5 名

②あすなろ隊 3 名、あすなろう体験履修者 2 名

依 頼 先：NPO 法人活気会食育部会



### 《あすなろ隊の感想》

- ・相手に分かりやすく伝えることの難しさや大切さを感じた。
- ・子ども達との接し方やお茶の淹れ方、作法などを学ぶことができ良い経験となった。
- ・コミュニケーション力を身に付け、活動がより活発になるように積極的に取組んでいきたいと思う。

## 8) 公開講座「高血圧予防の食生活」

活動内容：実習時のサポート

活動日時：平成 25 年 9 月 3 日（火）13 時 30 分～15 時

場 所：西九州大学短期大学部健康福祉・生涯学習センター（佐賀市）

対 象 者：一般（8 名）

活動者数：あすなろ隊 2 名、教職員 2 名



### 《あすなろ隊の感想》

- ・活動を通して、先生のお話を聞くことができ改めて「減塩」の大切さを実感した。
- ・参加者の質問に的確に答えることができるように、日々の勉強を頑張りたいと思った。

## 9) 神埼高等学校での食育バイキング講座

テ ー マ：食べ物をかしこく選ぼう！

活動日時：平成 25 年 9 月 19 日（木）14 時 45 分～16 時 25 分

場 所：佐賀県立神埼高等学校

対 象 者：高校 1 年生（154 名）（神崎市）

活動者数：あすなろ隊 5 名、教職員 4 名

依 頼 先：佐賀県立神埼高等学校



### 《あすなろ隊の感想》

- ・高校生へもっと良いアドバイスをしたり、食事診断の結果を見るポイント等の声かけができればもっと良かったと思う。
- ・食育レストランでは、高校の先生方も興味を持たれて、先生方にとっても日頃の食生活を見直す良い機会になったのではないかと思います。



### 10) 子育て支援イベント「ばぶばぶフェスタ 2013」

活動内容：食育体験コーナーでの支援（食育すごろく、野菜当てクイズ）

活動日時：平成 25 年 10 月 27 日（日）10 時～16 時

場 所：どんどんの森広場（佐賀市）

対 象 者：子どもとその保護者（約 100 名）

活動者数：あすなろ隊 3 名、あすなろう体験履修者 3 名

依 頼 先：佐賀新聞社

#### 《あすなろ隊の感想》

- ・活動を通して、子ども達からの意見の引き出し方や相手の目線に立ち、説明をより分かりやすくするための工夫など多くのことを学ぶことができた。

佐賀新聞 2013.10.28



### 11) たけおの食育まつり

活動内容：食育体験コーナーでの支援（パソコン de 食育クイズ）

活動日時：平成 25 年 11 月 4 日（月・祝）9 時～16 時

場 所：武雄市文化会館（武雄市）

対 象 者：来場者（約 100 名）

活動者数：あすなろ隊 6 名

依 頼 先：武雄市こども部食育課



#### 《あすなろ隊の感想》

- ・「食」に関心がある親子が楽しそうにクイズに挑戦し、食育への関心が高いことが伺えた。

### 12) さが食育フェスタ 2013

活動内容：体験型ブースの出展

（テーマ：あなたの食事 適量・バランス診断）

活動日時：平成 25 年 11 月 9 日（土）10 時～15 時 30 分

場 所：唐津市文化体育館（唐津市）

対 象 者：来場者（約 200 名）

活動者数：あすなろ隊 2 名、教職員 2 名



#### 《あすなろ隊の感想》

- ・体験された方に、分かりやすく説明することの難しさを痛感した。
- ・食事の選択の仕方や、食事内容の傾向等を実際に見ることができ勉強になった。
- ・「食」に関して興味が高い方が多くて驚いた。
- ・質問に対して、もっと的確に答えることができるように勉強を頑張ろうと思った。

### 1 3) 九州まん祭

活動内容：食育体験コーナーでの支援（本学 PR ブース内）

活動日時：平成 25 年 11 月 10 日（日）10 時～14 時

場 所：サンメッセ都市広場（鳥栖市）

対 象 者：来場者（約 80 名）

活動者数：あすなろ隊 2 名、教職員 4 名

依 頼 先：九州まん祭実行委員会



#### 《あすなろ隊の感想》

- ・子ども達が興味を持って楽しく食育体験をしてくれた。
- ・子どもと接する機会がないので、今回の活動を通して子どもとの触れ合い方や接し方を学ぶことができた。

### 1 4) 日曜糖尿病教室

活動内容：体験コーナー（食事バランス診断）での補助

活動日時：平成 25 年 11 月 17 日（日）9 時 30 分～13 時

場 所：大手口センタービル（唐津市）

対 象 者：糖尿病要指導者及び糖尿病に関心のある方（約 90 名）

活動者数：あすなろ隊 5 名

依 頼 先：唐津市保健福祉事務所



#### 《あすなろ隊の感想》

- ・参加者に結果をどのように伝えてよいのか戸惑ったが、管理栄養士の先生や先輩の説明を参考にしながら自分なりに伝えることができていった。
- ・活動を通して、糖尿病の方への栄養教育について学ぶことができた。
- ・参加者と食事内容や気を付けていることなどについて実際に話す事ができ、貴重な体験となった。

### 1 5) 小城普茶料理食事会～秋

活動内容：伝統料理普及活動の支援（調理・盛り付け・配膳・接待・後片付け）

活動日時：平成 25 年 11 月 24 日（日）9 時～16 時

場 所：小城市公民館晴田支館（小城市）

対 象 者：食事会にお越しのお客（約 60 名）

活動者数：あすなろ隊 4 名、あすなろう体験履修者 1 名

依 頼 先：祥光山星巖寺伝承「普茶料理おぎ春香会」



#### 《あすなろ隊の感想》

- ・一つ一つの作業が細かくて大変だったが、出来上がった料理は見た目も華やかでとても感動した。
- ・「もどき料理」など特徴的な調理に驚いた。
- ・普茶料理の知識や調理の仕方など様々なことを学べて、とても良い経験になった。

## 16)「ほっとひろば西九大」での支援

活動内容：クッキングコーナーでの支援

(クッキーツリー作り)

活動日時：平成 25 年 12 月 22 日 (日)

場 所：西九州大学神園キャンパス 子育て支援室

対 象 者：7 家族

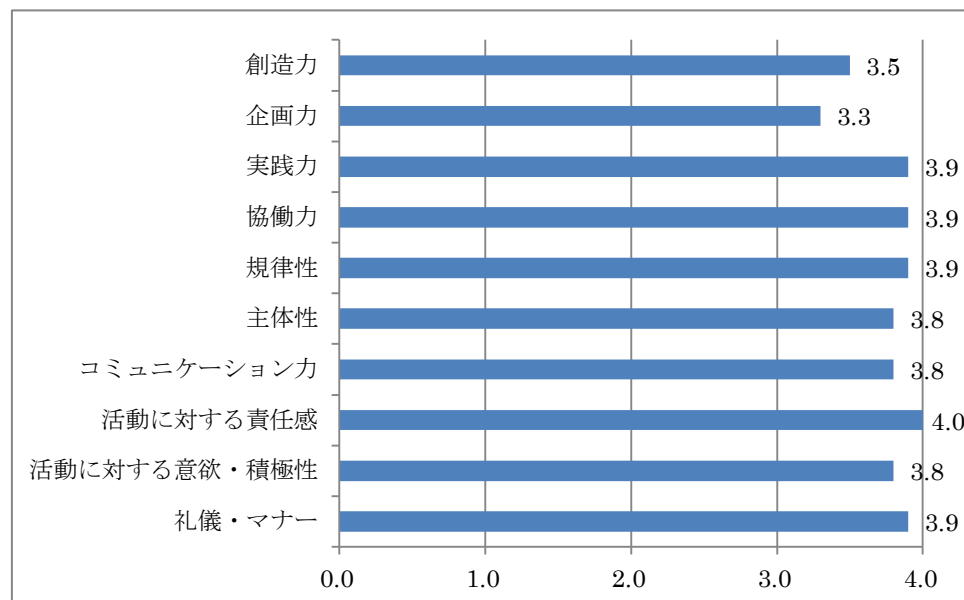
活動者数：あすなろ隊 2 名、教職員 2 名



### 《あすなろ隊の感想》

- ・最初は、どのように関わりながら進めていけばよいのか戸惑ったが、徐々に慣れていき、子ども達と一緒に楽しむことができた。
- ・子ども達が楽しそうにクッキーツリーにデコレーションをしてくれたので嬉しかった。
- ・異世代との交流で緊張したが、とても良い経験となった。

### ◆◇◆学生食育ボランティアあすなろ隊派遣に関する派遣先からの評価◆◇◆



(評価方法)

対象：平成 25 年度学生ボランティアあすなろ隊派遣先 10 団体

方法：④十分に備えている ③ある程度備えている ②あまり備えていない ①全く備えていない

### 派遣先からのコメント

- ・たくさんの住民や子ども達に笑顔で元気に接していただき、イベントを盛り上げてくださりありがとうございました。
- ・いつもご協力をありがとうございます。活動を通して、少しでも学生さんの今後にお役に立てれば幸いです。
- ・盛況のうちにイベントを終えることができました。学生さんにとっても何かしら「出会う・つながる」場になっていれば幸いです。
- ・今回の学生さん達は大人しい方が多く、体験者の引き込みが少し弱く感じました。
- ・みなさん 4 年生生ということで、積極的に準備から片付けまでテキパキとされ、対象者へのフォローもしてもらえて大変助かりました。

### 3. 活動報告③（学園祭）

	食育体験コーナー	模擬店
活動日	平成 25 年 10 月 26 日（土）&27 日（日）	
活動内容	五感にトライ！ （視覚・嗅覚・聴覚・味覚・触覚）	パンケーキの販売 （佐賀県産のれんこんを使用したヘルシースイーツ 156kcal/1 個）
場 所	コミュニティーホール	特設ステージ周辺
対象者数	約 120 名（体験コーナー来場者）	約 150 個（販売数）
活動者数	あすなろ隊 18 名 教職員 7 名	あすなろ隊 8 名
感 想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な年代の方と接する中で、年代に合わせた対応やコミュニケーションの取り方が難しかった。</li> <li>・先生や先輩が説明している内容や話し方を参考にしながら進めることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・模擬店活動は大変だったが、「おいしい」と言ってもらえて嬉しかった。</li> <li>・自分達で企画し、実際に作り、販売することは思っていたより大変なことだったが、その分達成感と充実感があり、良い経験になった。</li> </ul>

## 五感にトライ

- 味わってみよう 味覚に挑戦!!
- 聞いてみよう 何の音かな??
- 匂いをかいでみよう どんな匂いがするかな??
- 触れてみよう 何の食材かな??
- 見て、考えよう 食育クイズに挑戦!!

開催日時 平成25年10月26日（土）&27日（日）  
10時～16時

開催場所 コミュニティホール（西九州大学内）

みんなで遊びに来てね☆

食育サポートセンター

食育体験コーナー

（パンフレット掲載チラシ）



（パンケーキ）



匂いをかいでみよう



触ってみよう



聞いてみよう



（活動の様子）



#### 4. 活動報告④（神埼市内の施設を利用した食育活動「食まなび塾」）

目 的 本学学生の地域でのボランティア活動により、児童に食育で育みたい力（マナー、料理のスキル、食文化など）を楽しく、実践させることを目的とする。本事業は、神埼市の偉人である下村湖人の生家を活用して行うこととし、市の食育推進に寄与するものとする。

実施主体 神埼市・西九州大学食育サポートセンター

開催日時 1回目：平成25年6月29日（土）10時～12時  
2回目：平成25年7月7日（日）10時～12時  
3回目：平成25年7月13日（土）10時～12時

開催場所 下村湖人生家（神埼市千代田町）

対象者数 神埼市及び佐賀市内の幼児から小学生12名  
（年長児2名、小学2年生6名、小学3年生1名、小学4年生3名）

内 容

回	内 容
1回目	○手洗いについて                      ○味覚体験
2回目	○七夕そうめん作り・おにぎり作り（野菜・行事食について）
3回目	○食事のマナーについて              ○お茶の淹れ方について

活動者数 あすなろ隊8名、引率教職員2名

評価

1回目では、正しい手洗いの方法を身につけてもらい、五味の味覚体験を通して味が分かる力を養い味わうことの大切さについて知ってもらうことができた。2回目では、旬の食材や野菜の特徴、行事食について学び、調理実習を通して料理をすることの楽しさを体験してもらうことができた。3回目では、箸の持ち方や食器の並べ方等の食事のマナーについて正しく知ってもらうことができた。最後に、煎茶の淹れ方を学び、おもてなしや佐賀の文化について知る良い機会となった。

講座の内容や使用する教材については、あすなろ隊が子ども達に分かりやすいように工夫を凝らした。最初は不安な気持ちもあったようだが、子ども達の素直な反応や積極的に学ぼうとする姿に、学生自身もやりがいを感じ、子ども達と一緒に楽しく活動を進めることができたようだ。今回の活動で磨き上げた力が、今後の食育活動へとつながっていくことを期待したい。



## 5. 活動報告⑤（学生組織の各グループの活動）

### ◎「料理・スイーツグループ」の活動報告

取組の経緯	徐福フロンティアラボ（佐賀県地域産業支援センター）からの紹介で、株式会社大橋（神埼市）と庄分酢（酢製造者：大川市）と共同で、「ボイセンベリー酢」を使用した焼き菓子レシピの開発を行った。																						
ボイセンベリーの 特徴	フルーツの中でもビタミンやミネラル、ポリフェノールなどの含有量が高く様々な栄養がバランスよく含まれている。																						
材料及び開発品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボイセンベリー：株式会社大橋により栽培（神埼市）、収穫された。</li> <li>・ボイセンベリー冷凍（＊今年度は十分に確保できず）</li> <li>・ボイセンゼリー酢：大川市庄分酢から入手</li> </ul>																						
取組日程	<table border="1"> <tr> <td>4月23日</td><td>代表者会議（趣旨説明）</td></tr> <tr> <td>5月14日</td><td>レシピ提出（提出数31品）</td></tr> <tr> <td>5月21日</td><td>代表者会議（経過説明）</td></tr> <tr> <td>9月26日</td><td>代表者会議（今後の進め方について）</td></tr> <tr> <td>10月3日</td><td>           ブレインストーミング            （1年生9名、2年生6名、教員2名）            ＊株式会社大橋より2名来学             話し合いの様子→         </td></tr> <tr> <td>11月1日</td><td>代表者会議（開発アイテム、今後の日程調整について） ＊ボイセンベリー酢を渡す。</td></tr> <tr> <td>11月5日</td><td>           レシピ提出（提出数16品）             （学生が考案した試作品の数々）         </td></tr> <tr> <td>11月14日</td><td>1, 2年生試作会（製作数17品）</td></tr> <tr> <td>11月18日</td><td>腸内細菌検査実施（＊21日試食会用菓子製作者のみ実施）</td></tr> <tr> <td>11月19日</td><td>3年生試作会（製作数8品）</td></tr> <tr> <td>11月21日</td><td>           試食会用製作（試食用：マドレーヌ、まんじゅう）              「マドレーヌ」                      「まんじゅう」         </td></tr> </table>	4月23日	代表者会議（趣旨説明）	5月14日	レシピ提出（提出数31品）	5月21日	代表者会議（経過説明）	9月26日	代表者会議（今後の進め方について）	10月3日	ブレインストーミング （1年生9名、2年生6名、教員2名） ＊株式会社大橋より2名来学  話し合いの様子→	11月1日	代表者会議（開発アイテム、今後の日程調整について） ＊ボイセンベリー酢を渡す。	11月5日	レシピ提出（提出数16品）  （学生が考案した試作品の数々）	11月14日	1, 2年生試作会（製作数17品）	11月18日	腸内細菌検査実施（＊21日試食会用菓子製作者のみ実施）	11月19日	3年生試作会（製作数8品）	11月21日	試食会用製作（試食用：マドレーヌ、まんじゅう）   「マドレーヌ」  「まんじゅう」
4月23日	代表者会議（趣旨説明）																						
5月14日	レシピ提出（提出数31品）																						
5月21日	代表者会議（経過説明）																						
9月26日	代表者会議（今後の進め方について）																						
10月3日	ブレインストーミング （1年生9名、2年生6名、教員2名） ＊株式会社大橋より2名来学  話し合いの様子→																						
11月1日	代表者会議（開発アイテム、今後の日程調整について） ＊ボイセンベリー酢を渡す。																						
11月5日	レシピ提出（提出数16品）  （学生が考案した試作品の数々）																						
11月14日	1, 2年生試作会（製作数17品）																						
11月18日	腸内細菌検査実施（＊21日試食会用菓子製作者のみ実施）																						
11月19日	3年生試作会（製作数8品）																						
11月21日	試食会用製作（試食用：マドレーヌ、まんじゅう）   「マドレーヌ」  「まんじゅう」																						
試食会	試食会（フランボワーズサガンバスツアー） 開催日時：平成25年11月22日（金）10時30分～18時30分 場 所：庄分酢レストラン時季のくら 参加者数：19名（30～70歳代女性） 試食内容：食前酒、前菜、メイン、デザート、ドリンク																						
評価結果	（試食会での主な意見） 「マドレーヌ」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「酢の酸味が程良く、とてもおいしい」など、今回の試食会の中で一番人気であった。</li> <li>・普段から食べたい商品として好評を得た。</li> </ul> 「まんじゅう」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・あんこがさっぱりしていた。・皮が固かった。</li> </ul> ＊企業側の今後の展開としては、ボイセンベリー酢を使った「飲む酢」、「サイダー」で商品化すること。																						
今後の課題	本取組みは、企業の方と一緒にブレインストーミングからはじめ、企画から学生が関わることができたことが、学生にとってよい経験になったと思われる。 今回は手軽に美味しく食べられるお菓子がテーマであったが、今後は、さらに食材の栄養的特徴を十分に活かすことを考慮した開発を行うことで食育の取組みの意義が深まるものと考えられた。																						

◎「きずなレポーターグループ」の活動報告

活動内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・昨年度に引き続き、県事業への協力。</li><li>・県内の農産物直売所、県産農産物を使った加工品などを県ホームページ「きずなのひろば」のブログへ書き込み、食と農に関する情報を発信した。</li><li>・農業現場や加工現場へ出向き、新たな発見や生産者の思いなどをレポートし、県メールマガジン「がばい☆きずな」へ原稿を提供した。</li></ul>																		
活動期間	平成 25 年 5 月 20 日～平成 26 年 3 月 31 日																		
活動者数	5 名																		
ブログ書き込み	ブログ書き込み回数：29 回																		
現地レポート	<div>メールマガジン掲載回数：5 回（1 人 1 回）</div> <table><thead><tr><th>掲載日（号）</th><th>訪 問 先</th><th>ア ド レ ス</th></tr></thead><tbody><tr><td>9 月 2 日 （第 154 号）</td><td>唐津市厳木町畜産農家「松田ファーム」</td><td><a href="http://www.kizuna-saga.jp/blog/2013/09/_154.php">http://www.kizuna-saga.jp/blog/2013/09/_154.php</a></td></tr><tr><td>10 月 1 日 （第 156 号）</td><td>武雄市「なな菜」</td><td><a href="http://www.kizunz-saga.jp/blog/2013/10/_156.php">http://www.kizunz-saga.jp/blog/2013/10/_156.php</a></td></tr><tr><td>11 月 1 日 （第 158 号）</td><td>武雄市「おっ母さんの一膳めし屋」</td><td><a href="http://www.kizuna-saga.jp/blog/2013/11/_158.php">http://www.kizuna-saga.jp/blog/2013/11/_158.php</a></td></tr><tr><td>12 月 16 日 （第 161 号）</td><td>「伊万里ふるさと村畜産加工所」</td><td><a href="http://www.kizuna-saga.jp/blog/2013/12/_161.php">http://www.kizuna-saga.jp/blog/2013/12/_161.php</a></td></tr><tr><td>3 月 3 日 （第 166 号）</td><td>西山田農園「ふれあいの郷」</td><td><a href="http://www.kizuna-saga.jp/blog/2014/03/_166.php">http://www.kizuna-saga.jp/blog/2014/03/_166.php</a></td></tr></tbody></table> <div><div><div>きずなレポーターの現地レポート</div><div>唐津市厳木町畜産農家、『松田ファーム』をレポート（≧▽≦）</div><div>（レポーター…まっちゃん。）</div><div>取材日：平成25年8月20日（火） 場所：唐津市厳木町松田ファーム</div><div>松田ファームでは約86,000羽の鶏を飼っている。約8,000羽の鶏がいます。8月8日・10日・12日に、一番早く入った雞で今、大きくて500gくらいです。</div><div></div><div>松田ファームの鶏は肉鶏の一品種であるブロイラーで作られた品種がブレイヤーです。生育がとても早く、自然の鶏は成鶏に達するのに4～5ヶ月かかりますが、約47～53日で出荷します。</div><div></div><div>生産者の松田さんが居心地の管理や換気管理が徹底で、高いので、今などして敏感にさんの人の手が大きく立派に育ち、普段何気なく管理を徹底してを忘れず、感謝</div></div><div><div>きずなレポーターの現地レポート</div><div>武雄市の「おっ母さんの一膳めし屋」に行ってきました</div><div>（レポーター…れこ）</div><div>武雄市に13年続く食堂「おっ母さんの一膳めし屋」、国道34号線沿いにあります。農家のお母さんたちが地元のものにこだわって作ったおふくろの味を提供する食堂レストランです。</div><div></div><div>1日に200人くらいのお客さんが来られるそうで、毎日訪れるお客さんもいらっしゃるそうです！毎日食べに来たいくらいです。</div><div>一つ目は自分で食べたい（好きな）ものをセルフサービスで一品から選ぶことができます。二つ目は食べきれなかった分をお持ち帰りできます！そのため、残飯がとて少ないという利点があります。</div><div>野菜は隣の直売所から仕入れ、お肉や卵も地元のものなので、新鮮・安心！</div><div>代表の緒方さんに話を聞くと、「家は家で作られていたような産物や加工品なども、最近では家で調理される機会が少ないですね。そういったものを食べにくる方が結構多いです。家庭の味を楽しくに楽しめるお母さんたちのために、うちの店では地産地消を大切にしています。ぜひ一度来て下さい。」とおっしゃっていました！このように地産地消を大切にしているから安心でき、また、香ながら料理を食べることができるのも魅力です！</div><div></div><div>お持ち帰り用のバックがあります</div><div>店内は落ち着いた空間で、有名な方の方の色紙も多数ありました！私もまた食べたことがないので、ぜひ行きたいです。もし営業時間内に行けない場合は隣の直売所にも「おっ母さんの一膳めし屋」のお惣菜がありますよ、皆さんも足を運んでみては！</div></div></div>	掲載日（号）	訪 問 先	ア ド レ ス	9 月 2 日 （第 154 号）	唐津市厳木町畜産農家「松田ファーム」	<a href="http://www.kizuna-saga.jp/blog/2013/09/_154.php">http://www.kizuna-saga.jp/blog/2013/09/_154.php</a>	10 月 1 日 （第 156 号）	武雄市「なな菜」	<a href="http://www.kizunz-saga.jp/blog/2013/10/_156.php">http://www.kizunz-saga.jp/blog/2013/10/_156.php</a>	11 月 1 日 （第 158 号）	武雄市「おっ母さんの一膳めし屋」	<a href="http://www.kizuna-saga.jp/blog/2013/11/_158.php">http://www.kizuna-saga.jp/blog/2013/11/_158.php</a>	12 月 16 日 （第 161 号）	「伊万里ふるさと村畜産加工所」	<a href="http://www.kizuna-saga.jp/blog/2013/12/_161.php">http://www.kizuna-saga.jp/blog/2013/12/_161.php</a>	3 月 3 日 （第 166 号）	西山田農園「ふれあいの郷」	<a href="http://www.kizuna-saga.jp/blog/2014/03/_166.php">http://www.kizuna-saga.jp/blog/2014/03/_166.php</a>
掲載日（号）	訪 問 先	ア ド レ ス																	
9 月 2 日 （第 154 号）	唐津市厳木町畜産農家「松田ファーム」	<a href="http://www.kizuna-saga.jp/blog/2013/09/_154.php">http://www.kizuna-saga.jp/blog/2013/09/_154.php</a>																	
10 月 1 日 （第 156 号）	武雄市「なな菜」	<a href="http://www.kizunz-saga.jp/blog/2013/10/_156.php">http://www.kizunz-saga.jp/blog/2013/10/_156.php</a>																	
11 月 1 日 （第 158 号）	武雄市「おっ母さんの一膳めし屋」	<a href="http://www.kizuna-saga.jp/blog/2013/11/_158.php">http://www.kizuna-saga.jp/blog/2013/11/_158.php</a>																	
12 月 16 日 （第 161 号）	「伊万里ふるさと村畜産加工所」	<a href="http://www.kizuna-saga.jp/blog/2013/12/_161.php">http://www.kizuna-saga.jp/blog/2013/12/_161.php</a>																	
3 月 3 日 （第 166 号）	西山田農園「ふれあいの郷」	<a href="http://www.kizuna-saga.jp/blog/2014/03/_166.php">http://www.kizuna-saga.jp/blog/2014/03/_166.php</a>																	
今後の課題	管理栄養士を目指す者にとって、生産現場や流通販売について知ることができることから、学生の参加の拡大を図る必要がある。																		

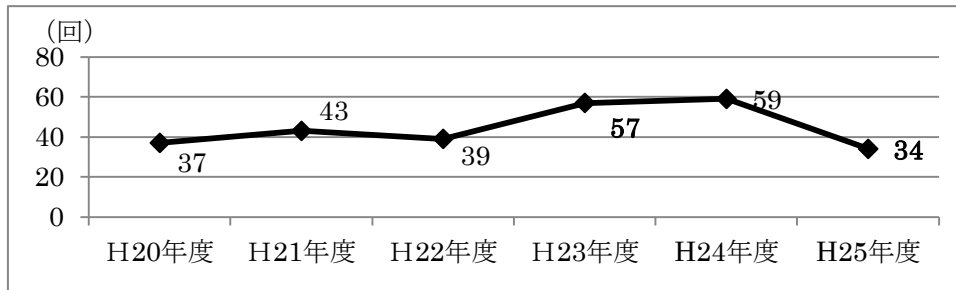
## 6. 神埼市との取り組み

内容	<p>「神埼そうめん」を使用した加工食品「神埼アスパラにゅうめん」の開発を行った。</p> <p>(特徴)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 佐賀県産のアスパラガスの濃縮液をそうめんに練り込んでいる。</li> <li>2. 化学調味料無添加のスープ</li> <li>3. 塩分を 3.13g に抑えた。</li> <li>4. お湯を注ぐ簡単調理。</li> </ol>
協働団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 神埼市</li> <li>・ 株式会社佐賀ヤクルト</li> <li>・ 西九州大学</li> </ul>
成果品	<p>(セット内容)</p> <div data-bbox="454 784 798 1467"> </div> <div data-bbox="813 1064 1348 1467"> <p>天然だしのスープ粉末</p> <p>麺</p> <p>薬味 (ねぎ・わかめ)</p> </div> <p>(調理例)</p> <div data-bbox="590 1545 1189 1993"> </div>



## 7. 教材の貸出状況

### ◆教材貸出回数の年次推移（平成 20 年度～平成 25 年度）



#### ①食育 SAT システム（貸出回数 10 回）

貸 出 先	利 用 目 的	貸出回数
ひらまつ病院	イベント（健康フェア）	1 回
佐賀県立塩田工業高等学校	文化祭（保健環境部活動の一環）	1 回
佐賀県立中原特別支援学校本校	授業（生活・調理学習のまとめとして）	1 回
中原特別支援学校鳥栖田代分校	授業（食に関する指導）	1 回
佐賀県立金立特別支援学校	授業（卒業後の食生活について）	2 回
佐賀県立伊万里特別支援養護学校	授業（食育とバイキング給食事前指導）	1 回
小城市役所	事業（夜間ヘルスアップ教室での栄養指導）	1 回
唐津保健福祉事務所	事業（日曜糖尿病教室での相談・体験コーナー）	1 回
福岡県栄養士会筑後支部	イベント（柳川山門医師会市民公開講座）	1 回

#### ②食育天びん“はかるくん”（貸出回数 14 回）

貸 出 先	利 用 目 的	貸出回数
やよいがおか鹿毛病院	イベント（子どもお仕事探検隊）	1 回
社会保険浦之崎病院	イベント（栄養相談）	2 回
佐賀県立中原特別支援学校	授業（生活・調理学習のまとめとして）	1 回
佐賀県立盲学校	授業（栄養講話）	1 回
佐賀県栄養士会鳥栖支部	イベント（鳥栖・三養基市民公開講座）	1 回
佐賀県くらしの安全安心課	第 8 回食育推進全国大会出展	1 回
全国健康保険協会佐賀支部	イベント（栄養相談）	1 回
多久市役所	イベント	1 回
唐津保健福祉事務所	事業（日曜糖尿病教室での相談・体験コーナー）	1 回
福岡県栄養士会筑後支部	イベント（柳川山門医師会市民公開講座）	1 回
久留米市保健所	イベント（久留米大学学園祭における食育啓発）	1 回
東伊豆町保健福祉センター（静岡県）	イベント（健康福祉ふれあい広場）	1 回
（株）KSK プランニング（栃木県）	イベント（うつのみや食育フェア）	1 回

③その他の教材（貸出回数 10 回）

貸出教材名	貸出先	利用目的	貸出回数
野菜タペストリー (3回)	佐賀県くらしの安全安心課	第8回食育推進全国大会出展	1回
	全国健康保険協会佐賀支部	イベント（栄養相談）	1回
	(株) KSK プランニング (栃木県)	イベント（うつのみや食育フェア）	1回
消化器について知ろう (3回)	神崎市役所	事業（食育セミナー）	2回
	太良町役場	事業（子どもクッキング教室）	1回
食育輪投げ (2回)	太良町役場	事業（子どもクッキング教室）	1回
	(株) KSK プランニング (栃木県)	イベント（うつのみや食育フェア）	1回
手洗い検査器 (1回)	特別養護老人ホームいちご	施設内職員勉強会	1回
食育すごろく (1回)	社会保険浦之崎病院	イベント（健康教室の教材）	1回

◎貸出先からの感想

食育 SAT システム

- ・実物に近いフードモデルなので、生徒に分かりやすく活用することができた。
- ・食事のバランスやエネルギー等の栄養量が瞬時に分かり、日頃の食生活を考える機会となり、対象者に好評だった。
- ・結果表をもとに説明やアドバイスをを行うことができるため、スタッフにとっても指導がしやすく、充実したコーナーとなった。

食育天びん “はかるくん”

- ・天びんという形で食べ物のエネルギーと運動の関係を目で見えて知ることができる為、とても分かりやすく伝えることができた。
- ・年齢に関係なく、楽しく取り組んでもらうことができた。
- ・嗜好品等の食べたエネルギー量を、どのような運動をどのくらいすれば消費できるかについて知ることができ、楽しく学ぶことができていた。
- ・対象者の食生活を省みる良い機会となったようだ。

その他の教材

- ・実際に手洗が残しを自分の目で見えて確かめることによって、日頃の手洗い行為の改善につながった。（手洗い検査器）
- ・楽しく食事のバランスを知ることができた。（食育輪投げ）
- ・食べ物と体の関係を学ぶと同時に、今後の食生活について考える機会となった。（消化器について知ろう）

